

平成28年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立成瀬小学校
-----	------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
A問題	<p>【国語】・よく目にする漢字の読みが正確にできる。 ・毛筆の注意点を把握している。 ・目的や意図に応じて、書く事柄を整理したり、図と表とを関係づけて読んだりすることができる。 【算数】・整数、分数の計算や数の大小関係を判断することができる。 ・見取り図から立体を想像する力がついている児童が多い。</p>	<p>【国語】・漢字を書くこと、ローマ字の読み書きに課題がある。 ・相手に分かりやすく伝える表現方法に慣れていない。 【算数】百分率で表された場面で、基準量と比較量の関係を正しく捉えることに課題がある。 ・小数の加法で、位を合わせることに課題がある。</p>
B問題	<p>【国語】・インタビューの工夫など実際に活用するような場面での理解が良い。 ・目的に応じて複数の本や文章を比べて読むことができる。 【算数】・包含除の立式や表の読み取りができる。 ・算数の問題場面で見いだした考えを活用して、条件を変更した場合について発展的に考察することができる。</p>	<p>【国語】・自分の考えを明確にしながらかく読むことや自分の考えが伝わるように工夫して文章を書くことに慣れていないようで、無回答も多い。 ・図表の読み取りに課題がある。 【算数】・式の中の数値の意味や理由を記述することに慣れていないようである。 ・問題文が長いと題意が理解できない傾向がある。</p>
質問紙	<p>・朝食をしっかりと食べ、決まった時刻に就寝・起床するなど、規則正しい生活が送られている。学校での出来事を家庭で話したり、家のお手伝いを良くしている。 ・友だち同士が関わり合う授業を心がけてきたことで、自分の考えを伝えたり、話し合ったりすることに抵抗がなくなってきたようである。</p>	<p>・1割程の児童が、夢や目標を持っていないと回答していること、自己肯定感や他者から認められているという意識が低いことが気になる点である。 ・自分の考えを文章にまとめることに苦手意識を持っている児童が多い。 ・平日に2時間以上テレビやDVDを見ている児童が半数以上を超えており、活字から情報を得ている児童が少ない。</p>

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p>昨年に引き続き、本校では、「目的や意図に応じて、自分の考えを整理し書く力」「数量感覚を生かして課題を正確に把握し論理的説明する力」に課題がみられることがわかった。 児童がもっている「算数・国語の勉強は大切だ」という思いを生かし、基礎基本の定着はもちろんのこと、自分の考えたことを書いたり話したりする言語活動を取り入れながら、個人や集団で考えを練り上げたり、表現したりする活動を多く取り入れ、課題解決に取り組む経験を多く積ませていく。特に、自分の考えを書くという活動に重点を置きたい。 *本時のめあてを子どもと共有する。 *発問や指示を厳選し、子どもの考える時間・深め合う時間を大切にする。 *本時のめあてが達成できたか、本時で何かわかったか、振り返りを行う。 *めあて、自分の考え、本時のポイント、振り返りをノートに書かせる。 読書をしている児童が増えてきていることから、読書指導の成果も表れ始めている。さらに、読書活動が充実するように、図書室の整備や図書置き場所、図書室の利用の働きかけなどを工夫していきたい。</p>

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項) ※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

<p>◎規則正しい生活を送り、学校のことを家庭で話題にしている児童が多くいます。家庭や地域のご協力を感謝いたします。</p> <p>1. 新聞や本を読む習慣を 毎日の情報は、「テレビやインターネット」からが多いことから、活字離れが相当進んでいます。読書が好きと応える児童も多いので、活字嫌いでもなさそうです。言葉の力を付けるために新聞や本を読む習慣をつけましょう。家族で図書館に行くというのも良いですね。</p> <p>2. 自主的な家庭学習を 宿題をしっかりとやっているという児童は、90%以上います。子どもの「学ぶ力」をより育てるために、学習時間を確保することや宿題だけでなく、質の向上を目指しましょう。(伊勢原市教育委員会の「家庭学習の手引き 学びのすすめ」を参考に)</p> <p>3. テレビやゲーム、携帯電話やスマートフォン、パソコンの使用はルールを決めて 半数以上の児童が携帯電話やスマートフォンを利用しています。メールやSNS等の利用やゲームの時間などについて、家族で話し合いルールを決めると良いでしょう。</p>
